

マーケットの動き（2024年10月28日～11月1日）

先週の為替市場は、前週末比で米ドルは対円で上昇（円安）しました。週前半は米国金利上昇に伴い、円売り・米ドル買いが優勢でした。31日の日銀金融政策決定会合後の記者会見での植田日銀総裁の発言を受け、追加利上げ観測が強まったことから円は買われましたが、週末は再び米長期金利が上昇し、円売り・米ドル買いが優勢となりました。

ユーロは前週末比、対円・対米ドルで上昇しました。

投資環境見通し（2024年10月）

円に対して米ドルはレンジ内で強含み、ユーロはレンジ内で推移

米ドル：金融政策の方向性の違いを背景に、円高ドル安傾向が予想されます。しかし、当面は米国長期金利の低下余地が限定的とみられることから、ドルは円に対してレンジ内で強含みで推移するとみています。

ユーロ：金融政策の方向性の違いを背景に円高ユーロ安傾向が予想されます。ただし、ECB（欧州中央銀行）による利下げペースについては相当程度織り込まれたとみられ、ユーロは円に対してレンジ内で推移するとみています。

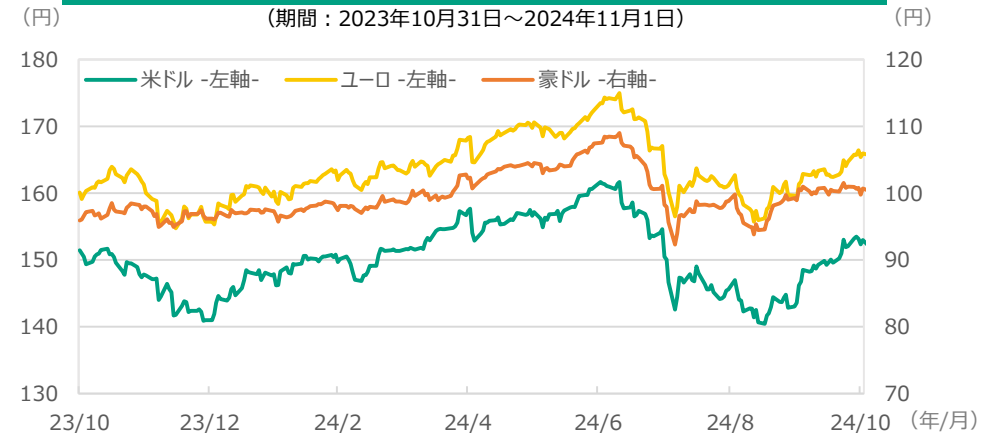
	11月1日	変動幅（円）			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
米ドル/円	152.97	0.92	9.37	▲4.69	1.99
ユーロ/円	165.95	1.26	6.89	▲2.48	6.86

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

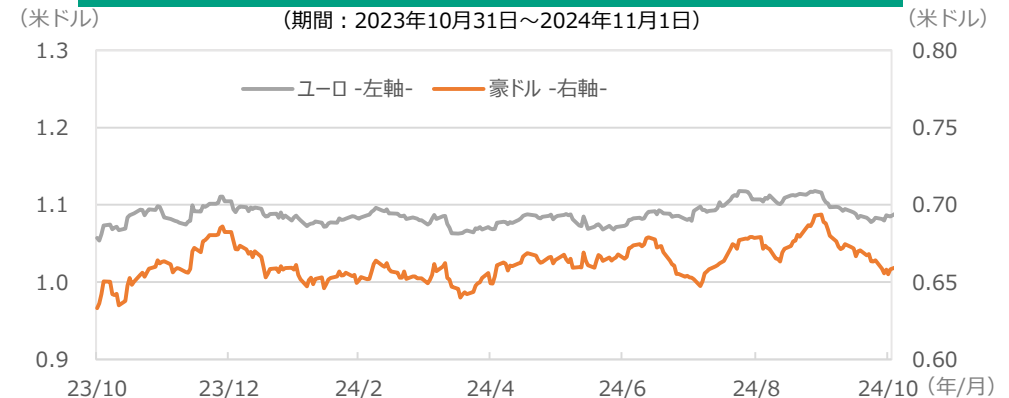
※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202410_outlook.pdf

為替レートの推移（対日本円）



為替レートの推移（対米ドル）



※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>